

操作手順

STEP

1 処方選択



バーコードで呼び出し、またはメイン画面
[処方一覧]から選択します。

STEP

2 分包品をセット



成分分析用の分包品を測定窓部分にセットし、
残りの分包品は測定台の上にまとめて置きます。

STEP

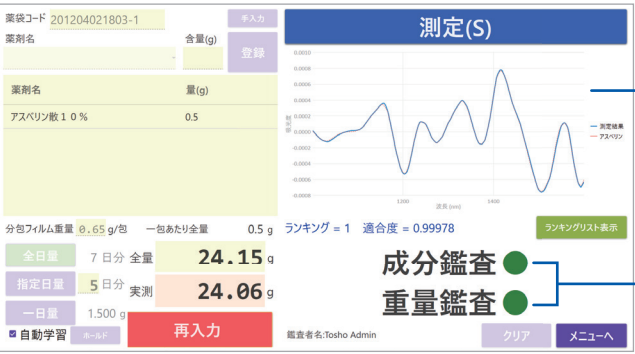
3 薬剤の成分・重量鑑別



[測定]ボタンを押すと、薬剤の成分分析と重量鑑査を同時に行い、測定結果を表示します。

STEP

4 鑑査結果



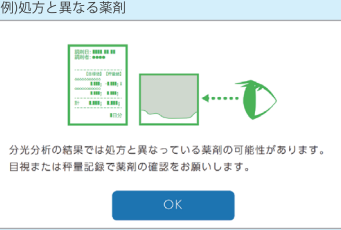
測定した波形をデータベースと比較します

正しい鑑査が行われると緑色に表示されます



アラート表示

「処方と適合しない」という鑑査結果が出ると、画面に警告を表示します。



仕様

コナミル PLUS

本体サイズ※1	W350mm×D260mm×H290mm（接続ケーブル等除く）
本体重量※2	3.9kg
電源	AC100V
鑑別速度	約4秒
最大秤量	2000g
使用範囲※3	0.3g～2000g
目量	0.1g
実目量	0.01g

※1本体サイズにビスなどの突起物は含みません。
※2薬品重量は含みません。
※3最小グラム数でも一部鑑別しにくい薬品があります。

電子天秤

型式	PJ-2202H
最大秤量	2200g
最小測定量	0.5g
目量	0.1g
実目量	0.01g
精度等級	2級

※製品改良のため仕様・構成などを予告なく変更させていただく場合がございます。
※本カタログは印刷のため実際の製品と色合いが多少異なる場合がございます。
※カタログ掲載内容は2023年3月現在のものです。



散薬鑑査支援装置

コナミル PLUS

一包化散薬の「成分分析」を実現。
精度の高い鑑査業務を支援します。



一包化した散薬の「薬品種」と「重量」を同時鑑別。
正確でスピーディな最終鑑査をサポート。



成分
分析

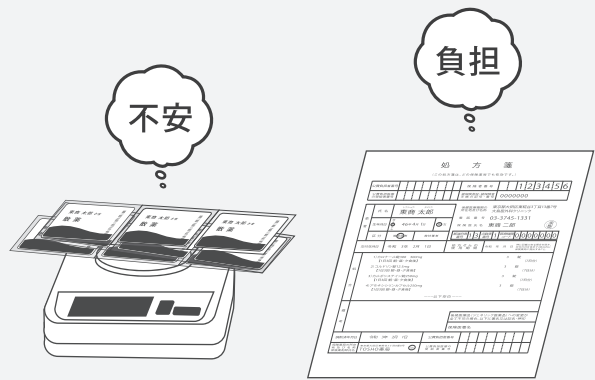
×

重量
鑑査

一包化散薬鑑査業務

これまでは分包した散薬が処方と合っているかの確認は「目視」のみ。
コナミル PLUSの導入で、不安だった鑑査の正確性向上に貢献します。

従来の鑑査方法
「重量鑑査」+「目視確認」



これまでは重量鑑査は行うものの、分包した薬品の正誤を
特定する機器はなく、薬品種の鑑別は行えませんでした。

コナミル PLUSの鑑査
「成分分析」+「重量鑑査」



コナミル PLUSは、重量鑑査と同時に成分分析を行って処方箋と
薬品の適合を鑑別し、最終鑑査を行うことができます。

※本装置は、異物を見つけるものではないため、引き続き目視での確認を行ってください。

コナミル PLUS 機能



POINT
1

重量鑑査

処方箋から算出される総重量と
照合し、秤量に間違いがないか
確認します。
約2000gまで計量できるので
長期処方でも安心です。



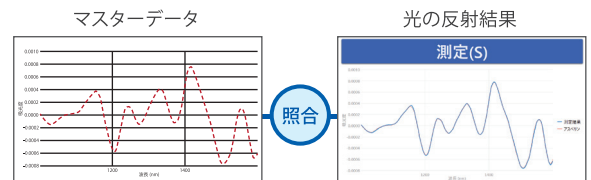
1処方「一包」を鑑別

成分分析を行うのは、1処方一包のみ。
0.3gの少量分包でも鑑別が可能です。

POINT
2

近赤外線による成分分析

コナミル PLUSに搭載した近赤外分光器からセットした分包品に
近赤外線を照射し、散薬の光の反射の波形とデータベースの
波形を比較することで薬品を特定します。



POINT
3

複数の薬品が混合する場合の成分分析

処方箋にある複数の散薬それぞれの波形を
データベースから呼び出し、混合した場合の
合成データを自動作成。合成データと分光器
で測定した結果を比較して照合します。



分析が難しい薬品

下記の薬品は、成分分析が不可、または正確に行われません。

- ×
成分分析が
不可の薬品

服用回ごとに薬品が異なる「不均等一包化」

朝 昼 夕 朝 昼 夕 ...
- △
成分分析が
困難な薬品

 - 漢方薬
成分含量にバラつきがあるため
 - 湿気を吸収しやすい薬品
湿気の違いで分光のスペクトルが変化するため
 - 錠剤粉砕薬品
粉砕の精密度によって鑑別結果にバラつきが出るため
 - 無機物
光が透過しやすく判別しにくい
(例)臭化カリウム / アドソルビン粉末 / 塩化ナトリウム
炭酸水素ナトリウム / 沈降炭酸カルシウム など
 - 粒の大きい薬品
複数を混合した時に均一になりにくい
(例)セレンカR顆粒40% / フロベム顆粒8% /
マーズレンS配合顆粒 / ベリチーム配合顆粒 など

鑑別が困難な薬品は 画面で注意喚起



自動学習機能 ▶ 測定を繰り返すことで薬品の認識率が向上し、成分分析の正確性が高まります。